

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	アカデミックスキル						授業形態		講義	
科目コード	160012	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	平岡 直樹、日高 英二、杉田 亘、岡島 直方								ICT活 用	○
授業概要	本授業では、環境園芸学科における学びを深めるために必要なアカデミックスキルを習得することを目的とする。レポートやプレゼンテーション、文献調査、情報収集といった基礎的な大学生としての学術的技能に加え、環境園芸分野における課題発見力や論理的思考力の養成を図る。特に、フィールドワークや観察記録など実践的な場面で必要となる記述力や分析力の基礎を培い、将来的な卒業研究や社会での応用力へとつなげていく。									
関連する科目	フレッシュセミナー									
授業の進め方 と方法	この授業では、環境園芸学科の学生として必要なアカデミックスキルについて学びます。 大学における学びのスタイルの理解、レポートの書き方、情報の信頼性評価、図書館やデータベースの活用方法などを中心に取り上げます。 また、ディスカッションやグループワークの進め方、また、環境園芸に関する身近な課題と対面し、研究テーマの見つけ方など、大学での学びの深め方を学びます。 講義では課題を行う際にパソコンを使用しますので必ず持参してください。									
授業計画 【第1回】	学び方を学ぶ① 1. 情報収集スキル 信頼できる文献の探し方（図書館・データベースなど） 学術論文・専門書を読む力（速読・要約・批判的読解） 2. 論理的思考力（クリティカル・シンキング） 自分と異なる意見も含めて多面的に考える									
授業計画 【第2回】	学び方を学ぶ② 1. 情報の信ぴょう性 2. 論理的思考・資料作成・説明能力 3. スケジュール管理方法 4. まとめ方、話し方（PREP法、SDS法）の実践									
授業計画 【第3回】	フィールド教育センターの活用について 1. 資格の種類と受験資格等について 2. 資格の必要性 3. 資格取得のためにひつようなこと									
授業計画 【第4回】	情報リテラシー 1. 資料の検索方法インターネットの活用 2. データ収集と活用について 3. OPACの使い方 4. ルーラル電子図書の利用について 5. 論文への引用方法									
授業計画 【第5回】	からだとこころのケア 1. 睡眠の重要性 2. リラックス方法 3. 人間関係 ロールプレイングなどを行いながら実践で学ぶ									
授業計画 【第6回】	地域との関わり方、農家や行政の取り組み ●ゲスト講師との座談会（予定） 1. AIやデータの活用の現状 2. ビジネスでの辛い点など									
授業計画 【第7回】	キャリアプラン（ジョブ・カードの活用） 1. 大学の学びをどう活かすか考える 2. 自己分析、自分の強み・弱みややりたいことを明確にする 3. これから得るスキルを考えた将来像を描く									
授業計画 【第8回】	データを活用した卒業研究 1. 卒論に取り入れられているデータ分析方法 2. 公的データの分析 3. データの読み方、考え方 未来を描く 1. 自分の将来像を描く（4年生になったときの姿）									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	大学で学ぶために必要なスキルを理解し、実践できるようにする
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	メモをとる準備、課題について自分の考えをまとめておく (30分)
授業時間外学習【復習】	授業で行ったメモをまとめておく (30分) 体験した内容や授業の内容を実践する
課題に対する フィードバック	講義の終わりのレポート作成時に講義内容を把握できているか確認、フィードバックする
評価方法・基準	各回の課題提出 (1回~7回は各15点×6回=90点、8回目は10点、合計100点)
テキスト	都度配布します
参考書	都度紹介します
備考	授業でパソコンを使用します

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	アカデミックスキル				授業形態		演習		
科目コード	160012	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	出口 佳奈絵、生地 暢、村上 真珠美、木村 志緒、川北 久美子、棚町 祥子、竹元 明子							ICT活 用	○
授業概要	大学での主体的な学習において必須となる基礎的スキル(聞き取る、調べる、読解する、書く、発表する、議論するなど)を総合的に学ぶ(データを起点としたものの見方やデータ・AI利活用における研究動向を含む)。管理栄養学科専門科目である各実験・実習で必要とされるスキルについて、学科担当教員による講義・演習を行う。								
関連する科目	教養科目、専門教育科目の全教科に関連する。								
授業の進め方 と方法	高等学校とは異なる大学での学習方法について、講義内容を聞き取り、実験・実習での課題等に関する調べ方、まとめ方を学び、レポート等の書き方、または話す(発表する)等の基本的な内容実践を行う。								
授業計画 【第1回】	研究倫理について e-ラーニングを用いて、研究倫理について学ぶ。								
授業計画 【第2回】	学科での実験・実習等における基本的なスキル 1 (生地) レポートでの参考文献等の検索方法およびその実践について学ぶ。								
授業計画 【第3回】	学科での実験・実習等における基本的なスキル 2 (川北) Excelを用いて実験データをグラフ化する方法を学ぶ。								
授業計画 【第4回】	学科での実験・実習等における基本的なスキル 3 (竹元) 明快・簡潔な文章表現を学ぶ。								
授業計画 【第5回】	学科での実験・実習等における基本的なスキル 4 (村上) コミュニケーション力を学ぶ。								
授業計画 【第6回】	学科での実験・実習等における基本的なスキル 5 (出口) 客観的な視点で考えるための思考スキルを学ぶ。								
授業計画 【第7回】	学科での実験・実習等における基本的なスキル 6 (木村) ワードを用いて国試過去問に着目した勉強方法を学ぶ。								
授業計画 【第8回】	学科での実験・実習等における基本的なスキル 7 (棚町) 課題を調べ、パワーポイントを用いた媒体作成の基礎を学ぶ。								
授業計画 【第9回】									
授業計画 【第10回】									

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	高等学校とは異なる大学での学び方を理解し、基礎的なスキル(聞き取る、調べる、まとめる(書く、話す)を元に、主体的な行動と自己管理能力を身につける。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	授業の内容を各回確認しておく。(30分)
授業時間外学習【復習】	授業の内容を十分に理解するために、課題等に取り組み、期限内に提出する。(1時間) また、理解が不十分な部分があったときは担当教員に質問等をするを怠らない。
課題に対する フィードバック	課題等については返却し、質問等への回答を行う。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 受講態度・意欲姿勢(50点) 課題等の提出物内容(50点)
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。
参考書	必要に応じて資料等を配布および提示する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	アカデミックスキル							授業形態	講義	
科目コード	160012	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	近藤 知巳、長田 隆								ICT活用	○
授業概要	大学での主体的な学習において必須となる基礎的スキル（例：聞き取る、調べる、発表する、議論する等）を総合的に学ぶための、導入教育である。									
関連する科目	教養・専門の全教科に関連する。									
授業の進め方 と方法	最初の安全教育は、中心に行う。 中盤から後半は、人とのコミュニケーションを基に、自分で考え、それを書き、話す（プレゼン）する。									
授業計画 【第1回】	実験・実習の安全指導 レポートの作成方法、論文の検索方法・読み方と技術者必修事項を学ぶ。									
授業計画 【第2回】	健康管理（健康診断表の見方：健康診断結果を持参すること） 性格診断（自分の長所・短所を把握）									
授業計画 【第3回】	上級生（2、3、4年生）と意見交換（対話形式） 研究倫理教育									
授業計画 【第4回】	自己紹介（自己分析し、今後どう気を付けて行くか、プレゼンする。）									
授業計画 【第5回】	食事体験（テーブルマナー取得） 場所：シーガイアコンベンションセンター									
授業計画 【第6回】	食品加工体験（調理実習） 場所：食品加工学実習室（1608教室）									
授業計画 【第7回】	まとめ（アカデミックスキルを履修して）									
授業計画 【第8回】	職業生活に向けて 産業カウンセラーの講演									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	① 南九州大学の歴史、教育理念、教育目的、教育・研究内容を理解する ② 高校と大学の違いを理解し、自律的な学習習慣・マナー・自己管理能力を身に付ける
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	授業の内容を毎回確認しておくこと。(約30分)
授業時間外学習【復習】	授業の内容を十分に理解するために必ず復習をしておくこと。 また、理解が不十分であった部分は担当教員にたずねること。(約30分)
課題に対する フィードバック	質問への回答を行う。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 提出物50% 受講態度50%
テキスト	必要に応じて資料を配付する。
参考書	必要に応じて資料を配布する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	アカデミックスキル						授業形態		講義・演習	
科目コード	160012	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	宮内 孝、山之内 幹、遠藤 晃、早川 純子、吉田 健、後藤 吉道、河野 康男、渡邊 光浩、川田 耕太郎、藤本 朋美、西田 雅美、石本 隆士、神垣 彬子								ICT活用	○
授業概要	大学において主体的に学ぶために必要な文献検索、レポート作成、プレゼンテーションのスキルについて学ぶとともに、入門ゼミの学びとを交流させながらアカデミックスキルの理解を深める。									
関連する科目	入門ゼミと本授業の学修後はプレゼミ受講をする。									
授業の進め方 と方法	課題に基づいて、グループワークを用いたディスカッションを通して課題解決に取り組みながらアカデミックスキルを理解する。									
授業計画 【第1回】	データを起点としたものの見方やデータ・AI活用における研究動向について レポートや論文作成のための情報収集の仕方について理解する。 ①大学図書館やインターネットを使った情報収集の基本スキルを理解する。 ②生成AIの基本的な機能と特性を理解する。 ③学びや調査・レポート作成の活用方法を体験する。 ④AIとの付き合い方(限界・注意点)を考察する。									
授業計画 【第2回】	文献等を読み、読み取ったことをもとに考察するための読解の仕方について理解をする。 ①読解の意義について理解する。 ②専門的な文献(入門書レベル)の読解スキルについて理解する。									
授業計画 【第3回】	文献等を読み、読み取ったことをもとに考察するための読解の仕方について理解し、その理解に基づいて文献を要約し文書にまとめる。 ①課題となった文献を要約し、発表する。 ②自身の文献の読み取りについて指導を受け、問題点と改善点を把握する。									
授業計画 【第4回】	レポートや論文に必要な文章表現の基本について学ぶ。 ①アカデミック・ライティングの基本スキルについて理解する。 ②レポート作成手順と論文作法を理解する。									
授業計画 【第5回】	入門ゼミの各自の探究課題について、レポートの構成についてグループワークを通して検討する。 ①レポートの構成について検討する。 ②レポートの整合性、結論の明確さとその根拠の具体検討する。									
授業計画 【第6回】	アカデミックなプレゼンテーションの種類と特徴を知り、それらを作成する基本スキルについてグループワークを通して理解する。 ①プレゼンテーションの目的 ②分かりやすいプレゼンテーション要件									
授業計画 【第7回】	作成した探究課題レポートについてアカデミックなプレゼンテーションを、グループワークを通して作成する。 ①各自のプレゼンテーションの構成についての発表 ②発表されたプレゼンテーションについてグループで検討									
授業計画 【第8回】	作成したプレゼンテーションの発表やその発表に基づいたグループワークを通して、プレゼンテーションの質を高める。 ①作成したプレゼンテーションを発表する ②他のゼミ生と感想を交流しながら改善点を見付ける。									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	学んだアカデミックスキルを使って、自己のテーマにそった分かりやすいプレゼンテーションができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／*
授業時間外学習【予習】	提示された課題について取り組む。
授業時間外学習【復習】	提示された課題に取り組む。
課題に対する フィードバック	提出されたレポートについては、適時フィードバックを行う。
評価方法・基準	・提示されたレポート 40点 ・プレゼンテーションスライド 60点
テキスト	
参考書	1. 学習技術研究会 編著「知へのステップ=大学生からのスタディ・スキルス= (第5版)」 (くろしお出版、¥1800+税) 2. 山形大学基盤教育院 編「スタートアップセミナー 学習マニュアル なせば成る 改訂版」 (山形大学出版会、¥800+税) 3. 藤田哲也 編著「大学基礎講座 改増版 充実した大学生活を送るために」
備考	